

2019年6月5日

腫瘍外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「肝外胆管癌に対する術後補助化学療法の意義」 への協力をお願い

腫瘍外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：

2004年1月から2017年12月までに当科で肝外胆管癌に対する根治手術を受けられた方

研究期間：

倫理審査委員会承認日～ 2020年3月31日

研究目的・方法：

胆管癌はいまだ予後不良の疾患であり、有効性が証明された術後補助化学療法はなく、その適応やレジメンも推奨されるものではありません。そこで2004年1月から2017年12月までに当科で肝外胆管癌の根治手術を行った方を調査し、術後補助化学療法の有無が再発や生存にどのように影響するか解析することを目的とします。

研究に用いる試料・情報の種類：

診療録より、以下の情報を取得いたします。

- ① 年齢、性別、BMI、疾患名の術前情報
- ② 術式関連因子（術式、手術時間、出血量、術後合併症、術後在院日数）
- ③ 切除標本の病理組織学的所見
- ④ 術後補助化学療法の有無
- ⑤ 再発率、無再発生存期間、再発部位、再発後治療
- ⑥ 生存率、全生存期間

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科

電話番号 058-230-6233

氏名： 今井 寿

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科

氏名： 吉田 和弘